

ポーランド館は、館の正面がグローバル・コモン4のメイン広場に面し、エキスポ・ドームの真横にあります。

建物は、ポーランドでの設計コンテストで優勝した建築家クシシュトフ・インガルデン氏の設計によるものです。

パビリオンの正面は、外壁面に沿って曲げられた鉄の枠に、竹の枝のような細い自然素材を巻きつけ、滑らかな曲線を創り出していました。それは見るものを圧倒するダイナミックさと同時に、人と自然とのバランスを保とうとする印象を受けました。

それは、建築という人工的なものを、エコロジーの材料とコンピューターモデルを使って、環境に溶け込む建物を創ろうと設計者は考えたのではないかと感じました。

ポーランド館のメインテーマが「素晴らしきものとの出会い」で、素晴らしきものとは、自然の美しさ、文明と自然の賢明な共存、芸術と創造の自由、自然から発想を得た芸術作品とあります。この建物はそのコンセプトを見事に表現していると言えるのではないのでしょうか。

また、このパビリオンの中にあるレストランで食事をしたのですが、レストラン自体が物販店等と空間を共有している上に、展示コースの出口となっているために少し気まずかったです。こういった建物を計画するにあたって、人々の動線を考えるのも非常に大切なものの一つだなと感じました。

